

| | | | | | |
|---|---|--|---|-------------------------------------|----------|
| Course number | U-LAS70 10001 SJ50 | | | | |
| Course title (and course title in English) | ILASセミナー : 教育・社会・国家 ILAS Seminar : Education, Society and Nation-State | Instructor's name, job title, and department of affiliation | Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, KURAISHI ICHIROU | | |
| Group | Seminars in Liberal Arts and Sciences | Number of credits | 2 | Number of weekly time blocks | 1 |
| Class style | seminar (Face-to-face course) | Year/semesters | 2025・First semester | Quota (Freshman) | 10 (10) |
| Target year | Mainly 1st year students | Eligible students | For all majors | Days and periods | Wed.5 |
| Classroom | Graduate School of Human and Environmental Studies Bldg. 535 | | | Language of instruction | Japanese |
| Keyword | 映画 / 表象 / 教師生徒関係 / 学校制度の比較史 | | | | |

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

[Overview and purpose of the course]

古今東西の映画のなかで、教育を主題にしたものや教育の世界（教師や生徒や学校の日常の人間関係）が濃密に描かれた作品をいくつか取り上げ、そこに描かれた像を考察することを通して、教育が歴史・社会的文脈においてしか成立しえない事象であることを理解し、また教育学に包含される問題群がいかにか幅広く、多様なものであるかを理解することを目指す。取り上げる作品は日本だけのものに偏らず、アメリカやヨーロッパのものを多く含むことで比較社会・比較教育的な試みを可能にする。

[Course objectives]

教育が歴史・社会的文脈においてしか成立しえない事象であることを理解し、教育学に包含される問題群がいかにか幅広く、多様なものであるかを感得することで、教育学を学ぶモチベーションを高める。

[Course schedule and contents]

1. オリエンテーション

2. ~ 14. 個人発表またはグループ発表：教育をテーマとする映画作品および原作（または関連文献）を各受講者が取り上げ、読みとった教育像を報告し全体で共有化の上、討論を通じて考察を深める。

< 取り上げる作品例 >

- ・ 山田洋次監督 『学校』 『学校II』 1993、1996 日本
- ・ 吉田大八監督 『桐島、部活やめるってよ』 2012、日本
- ・ ピーター・ウィア監督 『いまを生きる』 1989、米国
- ・ チャン・イーモウ監督 『あの子を探して』 1999 中国
- ・ ガス・ヴァン・サント監督 『グッド・ウィル・ハンティング』 1997 アメリカ
- ・ ジョー・ジョンストン監督 『遠い空の向こうに』 1999 アメリカ
- ・ ジェyson・ライトマン監督 『ジュノ = JUNO』 2008 アメリカ
- ・ マーク・ウェブ監督 『Gifted = ギフテッド』 2017 アメリカ
- ・ スティーブン・チョボスキー監督 『ワンダー 君は太陽』 2017 アメリカ
- ・ ガーウィグ監督 『レディ・バード』 2017 アメリカ

Continue to ILASセミナー : 教育・社会・国家(2)

ILASセミナー : 教育・社会・国家(2)

- ・フランソワ・ベゴドー監督『パリ20区、僕たちのクラス』2008 フランス
 - ・アリアヌヌ・アスカリッド監督『奇跡の教室 受け継ぐ者たちへ』2014 フランス
 - ・フランソワ・トリュフォー監督『大人は判ってくれない』1959 フランス
 - ・サム・ウッド監督『チップス先生さようなら』1939 イギリス
 - ・ジョン・カーニー監督『シング・ストリート 未来へのうた』2016 アイルランド
- 15 . フィードバック

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点評価による。

教育現象の歴史・社会的文脈での把握・理解が達成されたかどうかを観点に、セミナーにおける発表時のレジユメの完成度、説明の適切性、作品選択の理由説明などを評価する(70%)。さらにそこに日常の討論・共同作業への参加状態、貢献などを加味する(30%)。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

グループ発表においては、他のメンバーと密に連絡を取り、協調して発表準備を行うこと。
他の人が発表で取り上げる作品もなるべく、吉田南図書館1F視聴覚室または附属図書館3Fラーニング・コモンズで視聴しておくことが望ましい。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]